

令和元年度 地域プロジェクト成果発表会のご案内

ごあいさつ

北海道教育大学函館校は、2014年4月より国際的な視野と教育的なマインドを持って地域振興を担う人材を養成することを目的とする国際地域学科に再編されました。

地域プロジェクトは、地域で活躍する上で必要な実践的課題解決能力を養うために、2015年度に新学科全学生の必修として新設された地域課題解決型PBL（「Problem Based Learning」 & 「Project Based Learning」）科目です。プロジェクトの総数は40近くに上り、これほど多くのPBLを実施する大学は全国でも類を見ません。

地域プロジェクトは、全学生の必須科目として「Ⅰ」と「Ⅱ」があり、各半年間ずつ連続して計1年間履修することを原則としています。また、2018年度からは、選択科目として新たに「Ⅲ」と「Ⅳ」が開講されました。

このたびは、今年度に活動を行ったすべてのプロジェクトの最終発表を行います。

地域の皆様におかれましては、平素よりプロジェクトにご理解とご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。行き届かない点多いかとは存じますが、厳しくも温かいご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

★ぜひともアンケートへのご回答をよろしくお願い申し上げます！ ★

(地域プロジェクト運営委員会)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆ プログラム（概要） ◆◆◆◆◆◆◆◆◆

開催日：令和2年2月2日（日）

《第1部》ステージ発表 … 13:00～14:30

- ▶国際協働グループ：第1講義室
- ▶地域政策グループ：第14講義室
- ▶地域環境科学グループ：第17講義室
- ▶地域教育専攻：第2講義室

※質疑応答はポスター発表で行いますので、ステージ発表では行いません。



《第2部》ポスター発表 … 14:40～16:10

- ▶ 全専攻・グループ：体育館

発表する学生の皆さんも、交替制を取るなど工夫して、必ず全てのプロジェクトを見て回ってください。

◆◇◆◇◆◇◆ プログラム (詳細) ◆◇◆◇◆◇◆

《第1部》ステージ発表 … 13:00~14:30

▶ 国際協働グループ : 第1講義室

◎ステージ発表趣旨およびコメントレポートの説明・・・13:00~13:03

(A-51: 飯山 雅史) 市民向け公開講座実施プロジェクト・・・13:03~13:09

(A-52: 伊藤 美紀・高橋 圭介) 観光用やさしい日本語展示物作成プロジェクト・・・13:09~13:15

(A-53: 今在 慶一郎) HAKODADIカルチャーマラソン〜よく学び、よく遊べ〜I改・・・13:15~13:21

(A-55: 孔 麗) 地域としての外国人労働者の受入れ・・・13:21~13:27

(A-56: 佐藤 香織) クルーズ船で函館を訪れる外国人観光客に対する函館の魅力の発信と日本語支援・・・13:27~13:33

(A-57: 菅沼 聡・村田 敦郎) 哲学カフェ@はこだて・・・13:33~13:39

(A-58: 菅原 健太) 地域でのチーム活動を通じたウェルビーイング: グループダイナミクスの視点から 13:39~13:45

(A-59: 高橋 修) 口承文芸と現代の地域: 道南の「義経伝説」について考える・・・13:45~13:51

(A-60: 河 錬洙) 函館の国際交流活動の現状と課題・・・13:51~13:57

(A-61: 藤巻 秀樹) 外国人の目線で函館の国際化を考える・・・13:57~14:03

(A-62: 星野 立子) 函館と演劇文化・・・14:03~14:09

(A-63: 宮崎 悠・有井 晴香) 国際政治の観点から持続可能な暮らしを提案する・・・14:09~14:15

(E-53: 佐藤 香織) 日本語ゼロで函館市内の小学校に転入した外国人児童に対する
日本語学習支援プロジェクト・・・14:15~14:21

(A-54: 小林 真二) 地域密着型お笑いプロジェクト みなやん・・・14:21~14:27

◎コメントレポートの回収・・・14:27~14:30

▶ 地域政策グループ : 第14講義室

◎ステージ発表趣旨およびコメントレポートの説明・・・13:00~13:03

(B-57: 中村 直樹) 子どものことを考えた地域をつくる! ~チャイルドファーストな地域づくり~・・・13:03~13:10

(B-58: 根本 直樹) 美術館ボランティアの実践からの高大連携プロジェクト・・・13:10~13:17

(B-59: 畠山 大・藤井 麻由) 道南地域くらし応援プロジェクト・・・13:17~13:24

(B-60: 廣畑 圭介) 障害のある人の地域生活支援プロジェクト-NPO法人自立の風かんばすとの連携ー 13:24~13:31

(B-61: 藤井 廣美) 性暴力被害の予防教育・啓発活動 およびDV被害女性とその子どもへの遊び・学習支援活動
・・・13:31~13:38

(B-62: 森谷 康文) 道南の中小企業での外国人雇用を促進するプロジェクト・・・13:38~13:45

(B-51: 浅木 洋祐) 函館をより魅力ある街へー函館の環境を考えるー・・・13:45~13:52

(B-52: 伊藤 泰・金 鉉善) 子供を対象とした法教育プロジェクト・・・13:52~13:59

(B-53: 加藤 晃) 地域活性化を考える又は貧困から地域を考える・・・13:59~14:06

(B-54: 齋藤 征人) サードプレイスにおける社会貢献活動促進支援・・・14:06~14:13

(B-55: 田村 伊知朗) 後期近代の時代精神と地域内の公共的人員交通における路面電車の役割
ーその延伸の可能性と不可能性に関する実証的考察・・・14:13~14:20

(B-56 : 外崎 紅馬) QOL向上支援のための健活L I V Eプロジェクト	14 : 20~14 : 27
◎コメントレポートの回収	14 : 27~14 : 30

▶ 地域環境科学グループ : 第17講義室

◎ステージ発表趣旨およびコメントレポートの説明	13 : 00~13 : 05
(C-51 : 青木 昌雄) 数学を楽しむワークショップ・プロジェクト	13 : 05~13 : 13
(C-52 : 池田 正) 函館市中学校数学教育研究会と交流するプロジェクト	13 : 13~13 : 21
(C-53 : 金光 秀雄) 津波避難経路の情報提示作成プロジェクト	13 : 21~13 : 29
(C-54 : 村上 健太郎) 緑環境計測プロジェクト	13 : 29~13 : 37
(C-55 : 三上 修・紀藤 典夫) キャンパス内におけるキツネとの共生の試みと景観向上	13 : 37~13 : 45
(C-56 : 中村 秀夫) 放射線教育のための教材開発とその実践	13 : 45~13 : 53
(C-57 : 今野 英明) 地域における音環境の調査と提案	13 : 53~14 : 01
(C-58 : 竹中 康之) 地域とともに原子力発電を環境学的に考える	14 : 01~14 : 09
(C-59 : 林 美都子) はこだて認知心理学研究会	14 : 09~14 : 17
(C-60 : 松浦 俊彦) 科学を街に出そう！プロジェクト	14 : 17~14 : 25
◎コメントレポートの回収	14 : 25~14 : 30

▶ 地域教育専攻 : 第2講義室

◎ステージ発表趣旨およびコメントレポートの説明	13 : 00~13 : 05
(D-51 : 石井 洋) Enjoy Study プロジェクト～力を合わせて体力up!!～	13 : 05~13 : 14
(D-52 : 小田 将之) Enjoy Study プロジェクト～みんなちがってみんないい～	13 : 14~13 : 23
(D-53 : 長尾 智絵) Enjoy Study プロジェクト～ドキドキ！わくわく！みんなで団結プロジェクト～	13 : 23~13 : 32
(D-54 : 小松 一保) Enjoy Study プロジェクト～Enjoy Science 理科って楽しいねプロジェクト～	13 : 32~13 : 41
(D-55 : 吉村 功) 地域の子どもの対象とした運動遊びプロジェクト	13 : 41~13 : 50
(D-56 : 田中 邦明) 児童養護施設での教育支援プロジェクト	13 : 50~13 : 59
(D-57 : 本田 真大) 幼児の遊びの中の「学び」の発見プロジェクト	13 : 59~14 : 08
(D-58 : 細谷 一博) 特別なニーズのある子どもの余暇支援プロジェクト(2019)	14 : 08~14 : 17
(E-51 : 田中 邦明) ミャンマー国基礎教育支援プロジェクト	14 : 17~14 : 26
◎コメントレポートの回収	14 : 26~14 : 30

※発表順および発表時間は予定です。当日、変更の場合がありますのでご了承ください。

《第2部》ポスター発表 … 14:40~16:10

全専攻・グループ 及び 地域プロジェクトⅢ・Ⅳ : 体育館

※詳細は、別紙「ポスター発表配置図」のとおり